



平成 20 年 4 月 3 日

各 位

会 社 名 阪急阪神ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 角 和夫
 (コード番号 9042 東証・大証第 1 部)
 問合せ先 グループ経営企画部 部長(経理担当)
 大塚 順一
 (TEL. 06-6373-5013)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社である阪急電鉄株式会社(代表取締役社長:角 和夫、本社:大阪市北区 以下「阪急電鉄」という)は、本日、取締役会において、平成 20 年 3 月期における特別損失の計上を下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

これに伴い、最近の業績動向等も踏まえ、平成 19 年 11 月 15 日の中間決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

阪急電鉄は、大阪府北部の国際文化公園都市(彩都)に販売用土地を保有しておりますが、今般同地区の区画整理事業施行者である独立行政法人都市再生機構(UＲ都市機構)において事業評価監視委員会が開催され、彩都に係る事業再評価が実施されました。その評価結果を踏まえ、今後の彩都開発に係る事業のスピード・収益性に不透明感が増したことから、同地区に阪急電鉄が保有する販売用土地の時価を保守的に見直し、分譲土地評価損として特別損失を約 690 億円計上することといたしました。

なお、上記評価損の金額については、追加で損失が発生することのないよう保守的に算定しておりますので、彩都に係る特別損失は上記内容から変動することはありませんが、今後、連結対象会社の決算を集計する過程で、今般修正した業績予想に変更が生じた場合は、判明次第改めてお知らせいたします。

また、上記評価損については、当社個別業績へ影響を及ぼすことはなく、期末配当(平成 20 年 3 月期)は前回発表のとおり、1 株当たり 5 円の実施を見込んでおります。

2. 業績予想の修正

平成 20 年 3 月期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	755,000	83,000	68,000	35,000
今回修正予想(B)	752,000	88,000	73,000	500
増減額(B-A)	△3,000	5,000	5,000	△34,500
増減率	△0.4	6.0	7.4	△98.6
(ご参考)前期(平成 19 年 3 月期)実績	743,376	87,003	74,869	36,619
(ご参考)次期(平成 21 年 3 月期)予想	709,000	84,000	63,000	34,000

3. 修正の理由

鉄道事業に係る旅客運輸収入が好調に推移したことに加え、諸経費をはじめとする営業費用の削減により、営業利益・経常利益ベースでは、前回発表予想を上回る見込みです。その一方で、彩都の分譲土地評価損約 690 億円を計上すること等から、当期純利益が、前回発表予想より 345 億円下回り 5 億円となる見込みのため、通期の業績予想の修正を行うものであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上